

よりよく生きる力を育む

～高空学級の生徒とともに～

諏訪郡原村立原中学校 平塚広司

1 高空株式会社をつくろう（令和2年度）



お客のニーズや商品の質にまで意識を向けさせたいという教師の願いから、先生方に出資を募り「高空株式会社」を立ち上げました。この年の終わりには株主総会を開き、決算報告と配当を行いました。

3 高空カフェオープン！（令和5年度）



「将来はカフェの店員になりたい」という子どもの一言をきっかけに校内でカフェを開くことにしました。先生方をはじめ、保護者や地域の方をお客にして、手作りしたクッキーやゼリーを有償で提供しました。

5 能登地震を受けて



世の中の動きに関心を持ってほしいので教室に新聞を置いています。地震の発生から1か月が経つと記事が少なくなったことに気が付きました。放課後等デイサービスで村の社会福祉協議会へ募金に行ったことから、学校でも募金活動を行うことと、高空カフェの売り上げの一部を寄付することになりました。

2 地域とともに（令和3年度）



「昨年できなかった外での販売をしたい」という子どもの願いから、地域のイベント等でキャンドルや小皿、ポチ袋やうちわなど、手作り商品を販売しました。新たに地域の方が株主になってくれました。

4 小学生との交流も



原小学校の特別支援学級とコラボレーションして、小学2～6年生の児童7名が自分たちで栽培したジャガイモや野菜をカフェの来店者に販売しました。頑張ったご褒美に高空カフェのかき氷をふるまいました。

6 いざ、東京へ！



売上金で東京旅行に出かけました。切符の購入に戸惑ったり、自動改札機を怖々と通ったり、お小遣いで買い食いをしたり、家族へのお土産をうれしそうに選んだり、学校の中では見られない生徒の姿に触れられて、これから彼らが社会へ出て行く上で少しでも経験値を上積みできたかなとうれしく感じました。